

平成25年度に樹立・策定する鬼怒川森林計画区の概要

1 森林計画区の概要

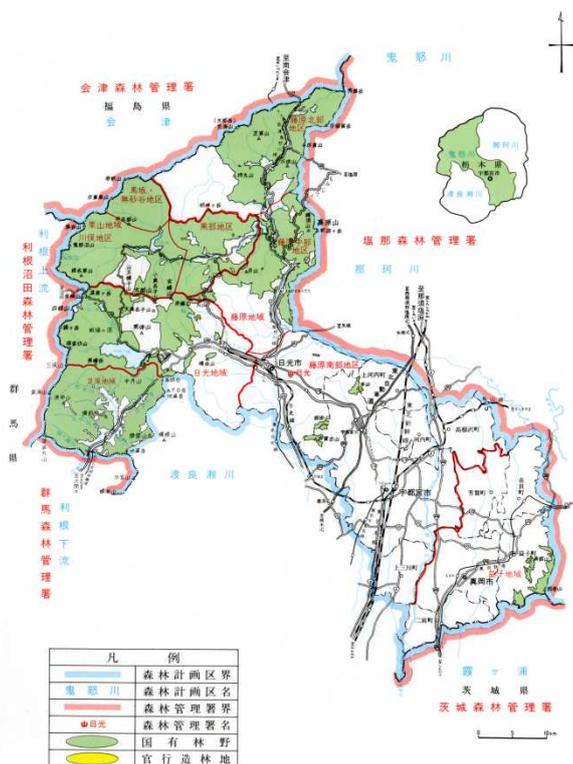


小田代湿原植物群落保護林(日光市)



西ノ湖から男体山(日光市)

鬼怒川森林計画区の国有林野位置図



ア 位置

当計画区は栃木県の中央部に位置し、宇都宮市、日光市及び益子町に所在する国有林82千haが計画の対象です。

イ 国有林の特徴

- ・ 当計画区のうち、63%は日光国立公園をはじめとする各種の自然公園に指定されており、特に鬼怒川源流部及び奥日光は優れた景勝地です。
- ・ また、奥鬼怒には原生的な亜高山植生が分布しているほか、日光にはヒノキの天然分布の北限、奥日光には戦場ヶ原湿原があるなど貴重な植生を有しており、保護林に設定しこれらの保全に努めています。
- ・ 国有林の豊かな自然と親しむためのフィールドとして、レクリエーションの森を27箇所設定しています
- ・ 企業や団体などの森林づくりの場として5箇所を設定し、自主的な森林整備や森林環境教育のためのフィールドの提供や技術支援等に努めています。

ウ 森林資源の状況

人工林面積は18千ha、天然林面積は59千haです。人工林（面積割合）は主に、カラマツ(40%)、スギ(20%)、ヒノキ(21%)で、21～40年生が46%、41年生以上が50%となっており、資源の充実とともに間伐期を迎えた林分が多くあります。

天然林は、丘陵地帯や低山地帯では、アカマツ、コナラ等を主とした二次林が多く、山地帯には、ブナ、ミズナラを主とした広葉樹の林分が分布しています。

2 現行計画の概要

ア 保護林

保護林	23箇所	3,515ha
-----	------	---------

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	630ha
自然観察教育林	8箇所	1,111ha
森林スポーツ林	1箇所	8ha
野外スポーツ地域	7箇所	639ha
風景林	6箇所	642ha
風致探勝林	4箇所	549ha
その他(単独レク施設)	52箇所	44ha



鬼怒沼(奥鬼怒自然休養林:日光市)



小倉山野鳥の森(多様な活動の森:日光市)

ウ 国民参加の森林づくり

ふれあいの森	1箇所	1ha
多様な活動の森	1箇所	51ha
社会貢献の森	1箇所	1ha
ボランティアの森	2箇所	5ha

エ 伐採・保育事業量

主伐	45千m ³
間伐	209千m ³
人工造林	69ha
天然更新	2ha
下刈	277ha
つる切	131ha
除伐	234ha
枝打	31ha



間伐前



間伐後

オ 林道の事業量

林道開設	9路線	14,340m
林道改良	17路線	1,980m

カ 治山の事業量

保安林の整備	121ha
保全施設	44箇所



荒廃地の復旧(足尾地域)

3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源の涵養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。このような基本的な考え方に基づき、森林整備を行うこととし、間伐等の森林整備の結果得られる木材は有効活用することとします。

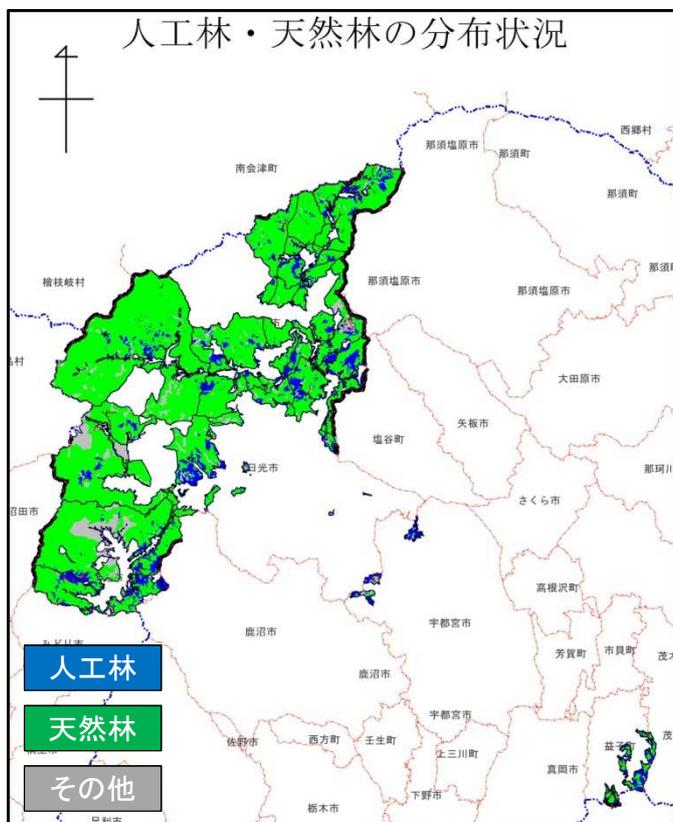
- (1) 国有林野の有する公益的機能のより一層の発揮のため、これまでの3機能類型を5機能類型に見直し。
- (2) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめとする公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (3) 保護林などでモニタリングを実施し、今後の取扱いに反映。
- (4) 希少猛禽類をはじめ、希少野生生物の保護対策を推進。
- (5) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (6) 足尾地域をはじめとする荒廃地の復旧整備や保安林の整備等の治山事業を計画的に推進。
- (7) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの普及等による間伐材の利用推進。
- (8) ニホンジカ等による食害対策を推進。

(参考1) 森林資源の現況

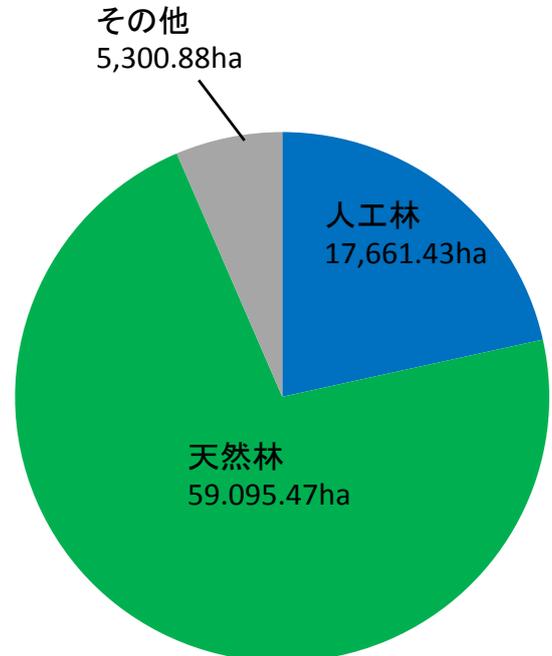
○市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A(%)	国有林率 E=C/B(%)
宇都宮市	41,684	8,223	494	20	6
日光市	144,987	125,361	80,328	86	64
真岡市	11,176	1,074	—	10	—
上三川町	5,452	148	—	3	—
二宮町	5,545	405	—	7	—
益子町	8,954	3,926	1,308	44	33
市貝町	6,424	2,390	—	37	—
芳賀町	7,023	716	—	10	—
高根沢町	7,090	468	—	7	—
計	238,335	142,710	82,130	60	58

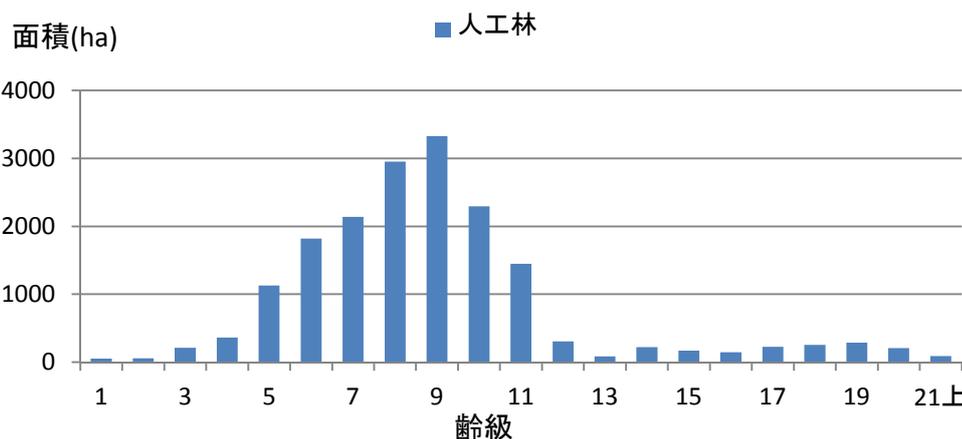
- 注) 1. 市町村面積は、国土地理院の公表数値(H20.4.1現在の速報値)である。
 2. 森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理経営計画書の数値である。
 3. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。



○人工林・天然林別割合



○齢級別面積



人工林の齢級別では、6 齢級(26年生)～11 齢級(55年生)が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

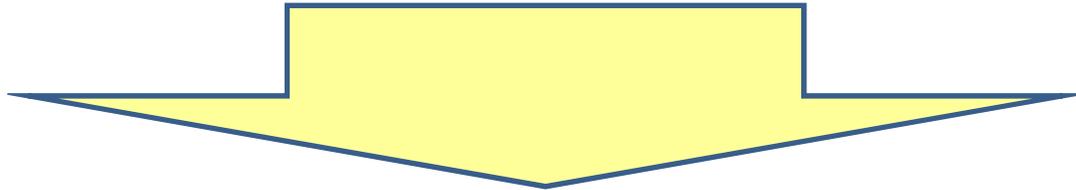
(参考2)機能類型

機能類型区分について

国有林を重視すべき機能に応じた機能類型に区分し、機能類型にふさわしい管理経営を推進。

○機能類型区分（現行）

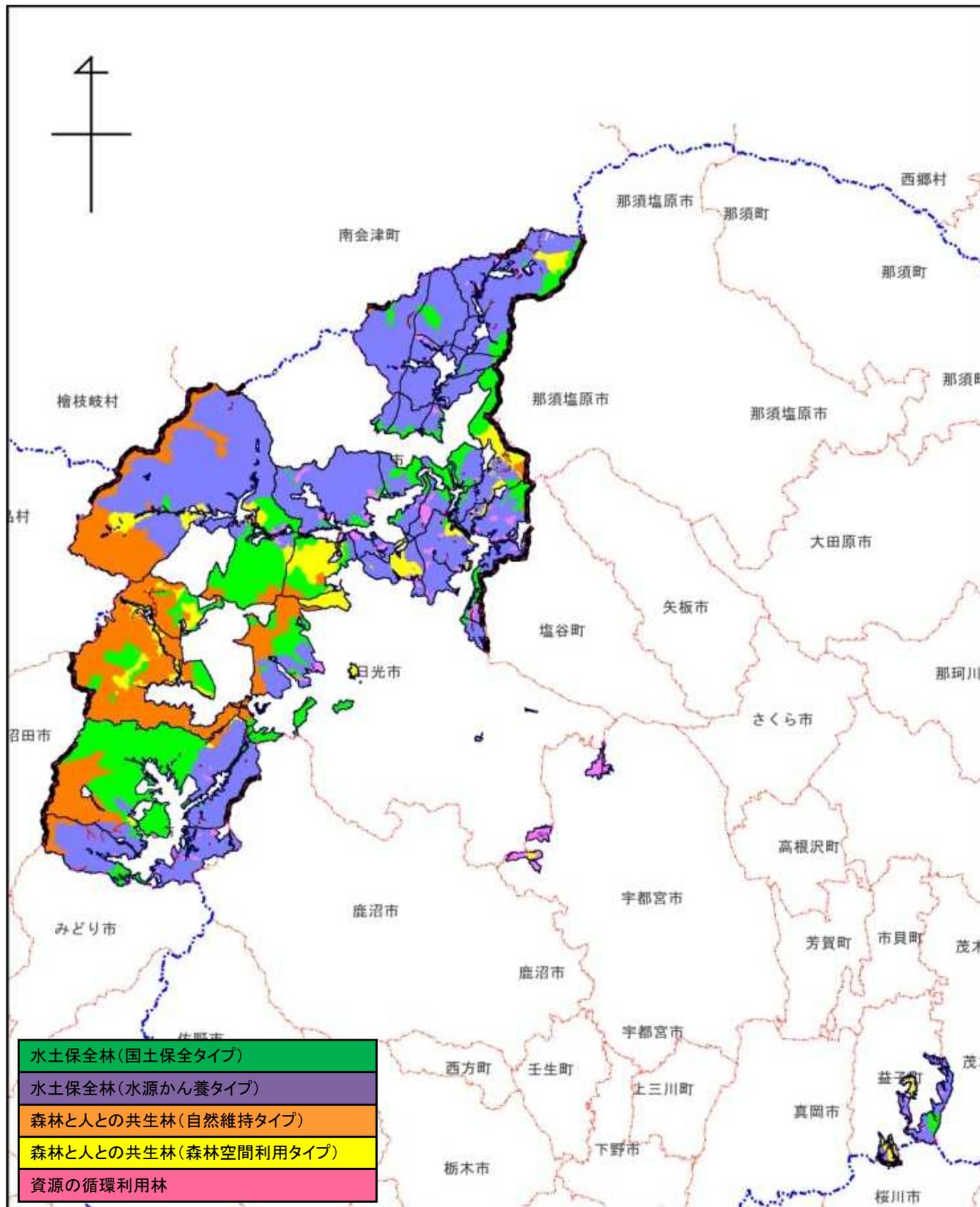
機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
水土保全林	国土保全タイプ	土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等の推進	22%
	水源かん養タイプ			50%
森林と人との共生林	自然維持タイプ	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全、国民と自然とのふれあいの場としての利用を図ることを重視する森林	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等	18%
	森林空間利用タイプ			8%
資源の循環利用林		環境に対する負荷の少ない素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林	森林の健全性を確保し、多様化する木材需要に応じた林木を育成するための適切な更新、保育及び間伐等の推進	2%



○機能類型区分（見直し後）

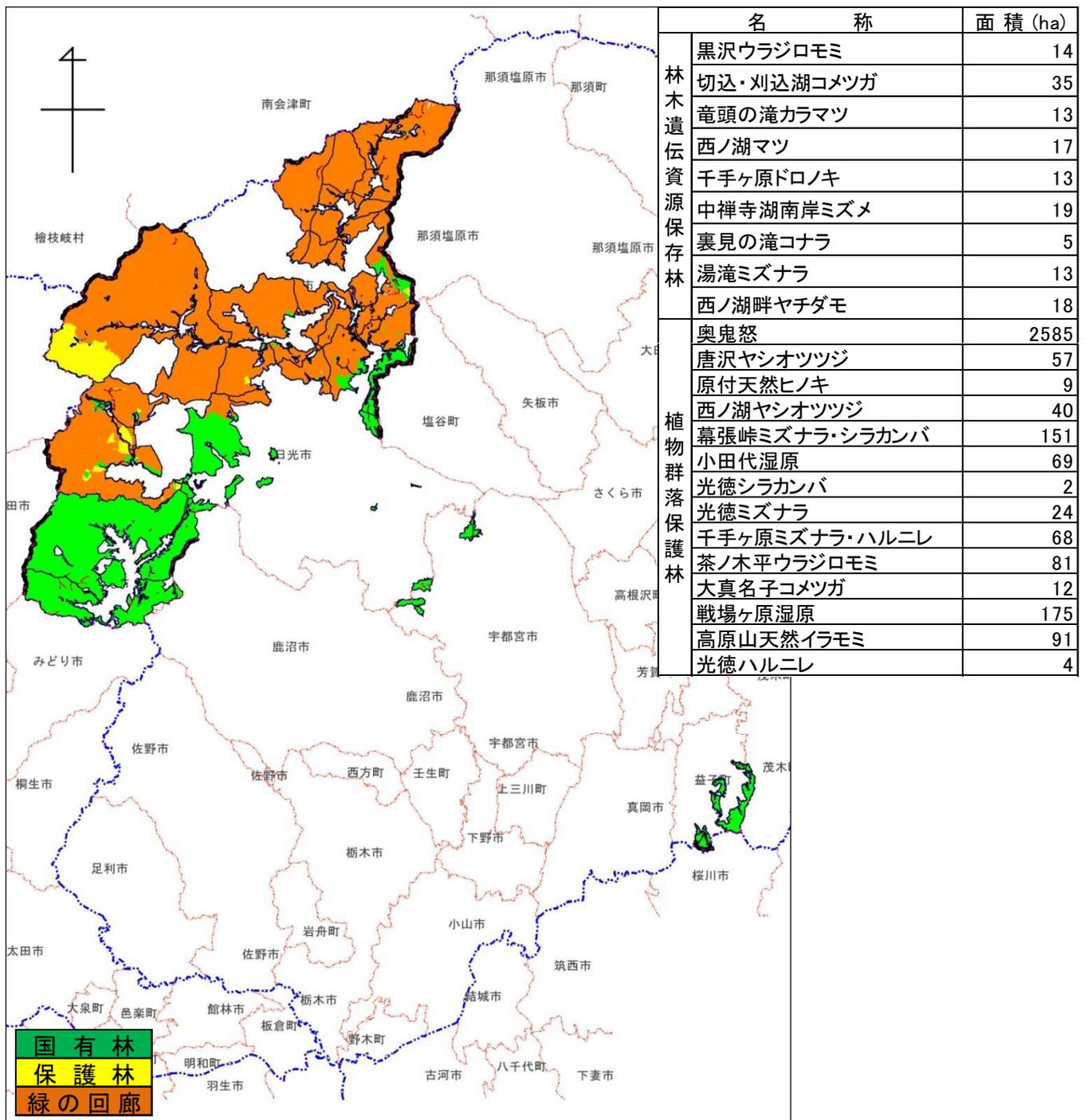
機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	22%
	気象害防備タイプ			—
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、学術的に貴重な動植物の生息に適した森林の維持	18%
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	8%
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	—
水源涵養タイプ		水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	52%

機能類型位置図(現行)



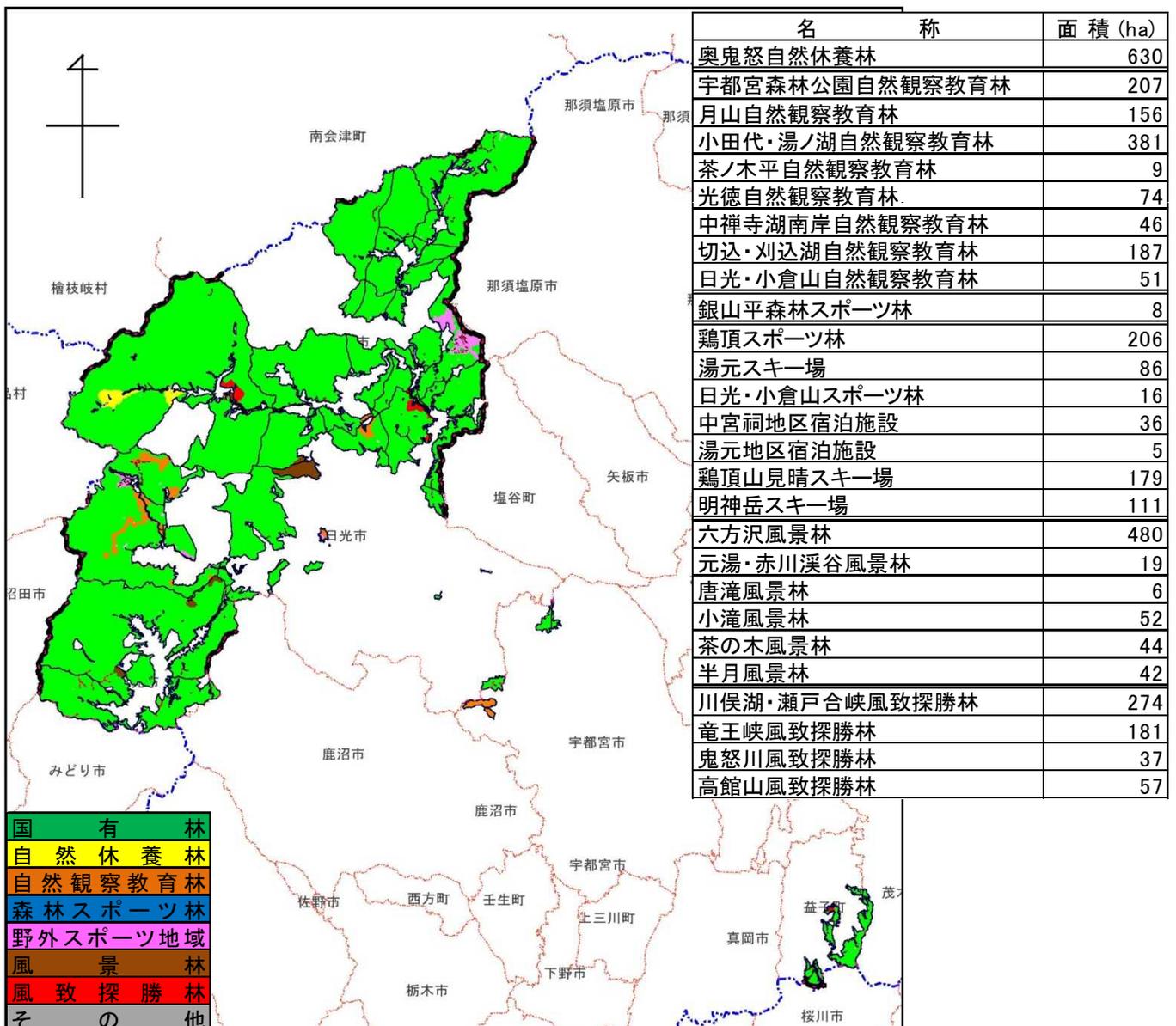
(参考3) 保護林及び緑の回廊

区 分		目 的	箇所数	面積 (ha)
保護林	林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を森林生態系内に保存することを目的とします。	9	147
	植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして植物群落等の維持、学術研究等に資することを目的とします。	14	3,368
緑の回廊		保護林と保護林を結ぶことで、野生動植物が移動し生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系の保全を図ることを目的とした区域です。	2	54,038



(参考4)レクリエーションの森

種 類	内 容	箇所数	面積 (ha)
自然休養林	自然休養の場として利用しつつ、風致的な森林整備を図る森林の区域	1	630
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し、自然科学教育等に適した地域	8	1,111
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	1	8
野外スポーツ地域	スポーツ施設及び滞在型施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林	7	678
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林としての風致の維持としての風致の維持に配慮する必要のある地域	6	642
風致探勝林	湖沼、渓谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で森林における休養活動を助長することに適した地域	4	549
その他(単独レク施設)	単独でレクリエーションの利用の用に供される地域	52	44



(参考5) 国民参加の森林づくり

種 類	内 容	箇所数	面積 (ha)
ふれあいの森	自主的な森林整備活動及びこれらの活動と一体となって行う森林環境教育等のフィールドを提供しています。	1	1
多様な活動の森	森林の保全を目的とした美化活動、自然観察、森林パトロール等、多様な活動を実施するフィールドを提供しています。	1	51
社会貢献の森	企業の社会的責任(CSR)活動等を目的とした森林整備を実施するフィールドを提供しています。	1	1
ボランティアの森	水源涵養や森林の持続的経営の普及啓発活動の場として設定しています。	2	5

